

済生会山形済生病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用、または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問合せください。

管理番号	612
研究課題名	人工膝関節置換術における手術部位感染率への感染対策介入の影響
本研究の目的	人工膝関節置換術（TKA）に対する感染対策介入前後の、手術部位感染（SSI）の発生率を比較し、介入の有効性を検証する。
対象者	2019年1月1日から2025年12月31日までの期間に、A病院整形外科にてTKAを受けた入院患者
研究代表者	川合 英樹
当院の研究責任者	川合 英樹
実施（予定）期間	2019年1月1日から2025年12月31日
研究方法	本研究は、A病院において実施された通常診療の記録を用いる後ろ向き観察研究である。 研究の対象は、2019年1月から2025年12月までに当院整形外科で人工膝関節置換術を受けた入院患者であり、診療録等から手術部位感染（SSI）の有無が確認できる症例とする。 2023年11月に、人工膝関節置換術に対するSSI予防のための感染対策介入を実施した。本研究では、この介入前後の症例を比較し、SSI発生率の変化を検討する。具体的には、診療録および院内感染サーベイランス記録から、年齢・性別・基礎疾患、手術日・手術内容・手術時間、周術期抗菌薬投与や皮膚消毒などの感染対策、術後90日以内のSSI発生の有無と種類、起因菌、再手術の有無などの情報を収集する。 これらの情報を用いて、感染対策介入前群と介入後群のSSI発生率を比較し、介入と手術中の感染対策の有効性を評価するものである。なお、本研究のために新たな検査や処置を行うことはなく、すべて既存の診療情報を用いて解析を行うものである。
研究に用いる 試料・情報の種類	人工膝関節置換術のサーベイランスデータ